

しがらみない

若者こそ投票

大学生 山本 沙織 21

2018.1.19

「選挙に行っても何も変わ
らないでしょ」。若者がそう
感じるのは無理もないのかも
しれない。

地道に草の根活動を頑張っ
てきた候補が、企業や団体な
どから組織票を多く得た候補
にあと一步のところで負けて
しまうという現実をよく目に
する。

数の力で勝つというやり方
が本当に正しいのか。選挙に
おいて一番大切なのは一般市
民個人の意見ではないか。市
民が政治に参加できる唯一の
場が選挙だ。その選挙で選ば
れる私たちの代表は、人々と
共に考え、苦しみ、時に一緒
に喜べるような人物であって
ほしい。

地域の人々に会いに行き、

話をする中で少しずつ信頼関
係を築いていく。そのような
草の根活動が評価される社会
であるべきだと思う。

しがらみという「大人の事
情」を気にせず、純粹に候補
者の公約や人柄などを重視し
て投票できるのは若い世代だ
と思う。だからこそ多くの若
者に投票に行つてほしいと私
は思う。変えていけるのは自
分たちだと気付いてほしい。

(延岡市)